

編集 後記

2023年も残りわずかとなりました。新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類感染症に移行し、通常の生活や業務が戻ってくる中で、新たな取り組みに着手したり、しばらく置き去りにになっていた課題に再びチャレンジしたりと、慌ただしい一年を過ごされた方も多いのではないのでしょうか。そのような中、読者の皆さまには、本年も本誌をご愛読いただき、また多くのご投稿をいただきありがとうございます。

さて、第70巻12号では、総説1編、資料3編をお届けします。青山らは、自己申告による身体計測値の正確性に関するスコーピング・レビューを実施し、疫学調査で自己申告情報による身長、体重を用いた場合、日本人では肥満とやせ両方の有病率を過小評価する可能性があることを示しました。三好らは、ニューメラシー（日常生活における様々な場面において必要となる数学的な情報や考え方を検索し、活用し、解釈し、伝達する力）について先進的な学校教育を展開するオーストラリアのカリキュラムを精査し、日本においても参考になる知見を紹介しています。齊藤らは、地域包括支援センターに勤務する看護職を対象とした調査を実施し、看護職の多くが高齢者と家族への支援過程で倫理的ジレンマを認識していることや、看護職の倫理的行動の特徴などを明らかにしました。原田らは、新型コロナウイルス感染症の蔓延下において、自治体の人材育成担当者にとって、新任者の業務遂行能力の未熟さと業務過多が大きな負担となっていたことを示すとともに、職場全体で新任者を育てる風土づくりの重要性を指摘しています。いずれの論文も、公衆衛生の調査研究や実践における留意点について重要な示唆を与えてくれるものです。

まもなく迎える2024年には、公衆衛生に関する多くの計画や施策が新たにスタートすることが予定されています。（また）忙しい一年になりそうな予感もしますが、まずは皆さまがよい新年を迎えられることを、心より願っています。

最後に、この年末年始は3年に一度の本誌編集委員の交代時期にあたり、約半数の委員が交代します。ご退任される委員の皆さま、長い間お疲れさまでした。そして、ありがとうございました。（冨尾 淳）

次号予告（第71巻・第1号）

原著

デジタル・ヘルスリテラシー尺度（DHILI）日本語版の開発……………宮脇梨奈，他
地域在住尿失禁中高年女性を対象とした非対面での歩行・筋力トレーニングの効果について：無作為比較試験による検討……………亀尾洋司，他

公衆衛生活動報告

医学生の就職活動におけるインターネットサービスの活用状況調査とそれに基づいた公衆衛生医師の確保のための動画広報活動の実践……………横山勝教，他

資料

3か月児健診時における母親の経済不安と気分および子どもとの生活への思いとの関連：乳児健診データを用いた横断研究……………緒方靖恵，他